

○ 第1部 市政報告	
(1) 市長からの市政報告	
<ol style="list-style-type: none"> 1. バイオマス産業都市構想 2. 女性と子どもが住みやすいまちづくり 3. 上地区での取り組み 4. 駅周辺にぎわい創造 <ul style="list-style-type: none"> ・頭高山の里山林整備、植樹祭 ・震生湖太鼓橋の架け替え ・弘法山公園利活用方針に基づく整備 5. はだのスポーツビレッジ構想 6. 電子地域通貨 7. 羽根森林資源活用拠点(仮称) 8. 戸川土地区画整理組合への支援、菩提横野線、矢坪沢水路整備 9. デジタル化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード ・本市の学校教育での「デジタルな学び」 10. プラスチック一括回収について <p>※詳細は別途資料参照</p>	市長

(2) テーマに基づく市政報告	
【市からの状況説明】	
<p>○防災対策について</p> <p>【湯の沢地区は上小に避難することが困難で、その場合の物資の配布の在り方や松田地区との連携等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震度5弱以上の大規模地震等が発生した際は、広域避難場所に市職員で構成する地区配備隊を配置し、避難所を開設する。 ・上地区の広域避難場所は上小学校となっているが、自宅や自治会館などに避難する在宅避難や自主避難を検討される方もいられる。 ・物資の配給については、広域避難場所において、避難場所に関わらず平等に配給するが、在宅避難等の場合には代表者が上小学校に受け取りに来ていただくことが原則となる。 ・松田町との連携については、平成17年12月に1市3町、秦野市、松田町、中井町、大井町で災害時における相互応援協定を締結しており、行政境に隣接する避難所の提供や食料、飲料水、資機材等の物資提供など、相互に連携強化を図っている。 ・湯の沢地区は、上小学校に向かう市道19号線の一部が土砂災害警戒区域に指定されているため、発災初期の安全な避難体制を確保するため、地域にとらわれず避難所の使用や必要な物資の提供など、相互に柔軟な対応ができるよう、松田町と連携し、体制の構築に努めている。 ・湯の沢地区において、松田町での慣れない施設での避難生活により、過度なストレス等の懸念があることから、発災初期は地域の一時避難場所である、自治会館を地域の拠点にしたいとの希望を伺っているので、食料や飲料水、毛布などの物資の配備を検討する。 ・発災初期は自助、共助による地域の活動が主となるので各家庭での食料や飲料水、災害トイレなど生活必需品の備蓄については、最低3日分でできれば1週間分の備蓄をお願いしたい。 <p>【上地区は大規模災害時に孤立化が懸念される。その際のドローンを活用した情報収集はどのようか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害が発生した際は、市職員が災害現場へ行き把握する情報と、広域避難場所で従事する市職員で構成する地区配備隊からの情報を災害対策本部が集約し、被害の早期把握を行う。 ・被害が広範囲に及ぶ場合や土砂災害等により地区が孤立し、地上からの情報収集が困難な場合は、市が所有するドローンを活用し、上空から被害確認や情報収集を行う。 ・これまでも風水害の被害状況や被害建物の状況確認などでドローンを活用している。 ・ドローンの操縦士は消防職員や一般職員を計画的に養成しており、令和6年7月現在、消防職員24名、一般職員30名が資格を保有しており、訓練等を通じて技術の向上に努めている。 ・災害発生時にドローンを活用することで、早い段階で被害状況の把握ができれば、その後の災害対応を迅速に進めることができる。今後も操縦士育成や積極的なドローンの活用を行い、ドローンを利用した情報収集の更なる強化に取り組む。 	<p>くらし安心 部長</p>

○ 第2部 市政全般について	
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢坪沢の水路整備について、位置づけはどういう取り扱いなのか。 ・矢坪沢の樹木はほとんど切ってしまうのか、ある程度は残すのか。 ・人が入れるような、環境に配慮した親水護岸的なものを整備する予定はあるのか。 	菖蒲第一自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢坪沢は都市計画道路の菩提横野線に沿った形で流れている。また、土地区画整理事業区域とも隣接しており、このような事情を踏まえ、沢の底地の管理者である市が沢の整備を行うことになる。 ・樹木については、今、流れている高さそのものを利用して沢の整備をする関係上、道路と水路の高低差を埋めるために安定した斜面を作ることが基本的な整備の内容ではあるが、道路と水路の高低差がそれほどなく、斜面をそのまま利用できるという場所もあるので、そういった場所においては、残せるものは残すという考えで現在、設計をしている。 ・遊歩道については、全域ではないが、検討はしている。 	建設部長
<p>(お礼、要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三廻部の入口の三叉路について、建設管理課で何度か見に来ていただき、きれいにしていただいた。非常に見通しも良くなり、地域の方も喜んでいる。 ・昨年度、さと地共生住宅開発許可制度について、実効性があまりなく、都市部で制度を作っても農業委員会、農地法では関知しないというようなことで、市のほうで調整してほしいと要望した。 ・市の事業には、上地区の将来を見据えた事業がないので何か計画をしていただきたい。上地区を取り残さないでほしい。将来的に上地区に住宅が増え、にぎわいが持てるような都市計画を市で立ち上げてほしい。 	みくるべ自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上地区のにぎわいについては、令和8年度からの総合計画策定に向けて、今後、まちづくり委員会の皆様にも協議していただいて、その計画をベースに、一歩ずつ前に進めていきたいと考えている。 ・上地区の魅力を生かしたまちづくりは、上地区の皆様のを市が引き出し、支援していきたいと考えている。 ・さと地共生住宅開発許可制度については、平成25年度から開始され、現在までに9件、16宅地で利用されている。一定の条件はあるが、現在農業サイドの担当部署とも調整しており、公共施設周辺での緩和など、地域の意見も伺いながら研究していきたい。 	市長 都市部長

<p>(質問、要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新東名の工事車両専用道路は、現在復元工事が始まっている。この道路は、地域の生活道路として残してほしいだったが、叶わず、大変、残念に思っている。工事の工期を知りたい。工事車両専用道路は切土をして建設しているので、復元工事後の土砂災害の危険性の高まりなど、安全性に問題はないのか、また工法を知りたい。 ・新東名の工事車両専用道路周辺の市道が荒れているので整備できないか。 ・さと地共生住宅開発許可制度について、住宅整備促進のために、既存宅地であることを地権者や地域住民に情報提供できないか。 ・来年、大相撲4月場所が秦野で行われると聞いた。上小学校にある相撲場を使って、子ども相撲大会はできないか。地域の宣伝にもなる。 ・今、葬儀等でお茶が使われなくなり、お茶農家の方もだいぶ苦労されているようだ。足柄茶の普及促進に努めてほしい。 	<p>柳川自治会</p>
<p>(回答)</p> <p>【新東名工事車両専用道路及び周辺市道の整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事車両専用道路については、地域の皆様の御希望に沿えなかったこと、大変申し訳なく思っている。復元工事の工期については、詳細は後日御連絡させていただきたい。 ・工事車両専用道路は緩やかな斜面だったところを、切土をして道路を建設している。復元工事における盛り土については、ネクスト日本で、市に盛り土作業の届け出をしており、その中で適正に施工を進めていると捉えている。 ・周辺市道の整備については、後日、具体的な路線をお話いただければ、市の考えをお示ししたい。 <p>【既存宅地の情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年に制度活用の可能性がある土地所有者の方に活用意向のアンケート調査を行ったところ、個人情報との関係で、情報を開示したくないという方が多いという結果だった。 ・土地活用には情報提供が欠かせないとは思っているため、土地所有者の皆様が安心して情報提供できるような取り組みを考えていきたい。 <p>【子どもの相撲大会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月1日発行の広報はなので、市制施行70周年の市民企画イベントを募集する。ぜひ応募していただきたい。 <p>【足柄茶について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足柄茶の発展を目的とした神奈川県茶業振興協議会という協議会があり、環境産業部長が理事になっている。足柄茶は来年100周年を迎える中で、詳細は決まっていないが、イベントや各種メディアを活用しながら、足柄茶をPRしていこうと、今、協議会で検討をしている。御要望も踏まえて、しっかりPRしていきたい。 	<p>市長 建設部長 都市部長 環境産業部長</p>

（要望）

・昨年もお願いましたが、甘柿橋は中学生の通学路になっているが、歩道がない。市には、ドライバーへの注意喚起の案内板やグリーンベルトでの対応を考えていただいた。
・オーバーランをしている車を度々見かけるし、子どもたちは横に広がって歩き、見かけたときは注意をしているが、非常に危ない。このことは中学校でも話をしたが、子どもたちの安全のためにも歩道橋の設置を要望する。



菖蒲第2自治会

（回答）

・市道堀西21号線は、甘柿橋だけでなく、何箇所か危ない箇所がある。昨年より速度抑制対策として、路面標示や看板の設置を行っている。現時点でできることとして、市道堀西21号線全体の速度抑制を図らせていただきたい。

建設部長

（意見・要望）

・上地区の空家対策について、「小規模特認校制度」を利用して、上小学校に通学している保護者で、上地区に住みたいと考えている方がいるのではないかと、調査はしているか。特認校制度と空家対策を一緒に考えたら、上地区の空家もなくなるし、人も増えるのではないかと。

柳川自治会

（回答）

・現在、上地区で空家バンクに登録されている方は8件で、そのうちこれまでに5件の成約があった。特認校制度利用児童の保護者の方から空家に関する相談を受けたことはなく、アンケート調査は行っていない。
・引き続き、さと地共生住宅開発許可制度やTANZAWA LIFE(移住定住お試し住宅)を活用し、移住定住に繋げる取り組みを行っていく。

都市部長

<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秦野市側の湯の沢地区と松田町側の湯の沢地区では交流がない。松田町と防災の連携をしているということであれば、市で住民同士で話し合いが持てる場を設けてほしい。昨年、防災課には要望したが行われなかった。 	<p>湯の沢自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元日の能登半島地震を受けて、再度改めて、松田町の危機管理担当へ松田町の施設へ受け入れていただけることを確認した。 ・例えば、お互いの防災対策について、講習会を開催し、交流を図ることもできるのではないかと思いますので、松田町に御意見を伝え調整を図っていきたい。 	<p>くらし安心部長</p>
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援隊(消防団OB)という組織があり、大規模災害時には消防団と連携するという任務がある。その任務の中で、自治会や地元消防団と連携して物資の運搬などの協力ができないかと思っている。災害支援隊は、年に1回くらいしか集まっていないので、発災時に何をやるのかという連携ができていない。消防団や自治会と連携がとれれば、お役に立てるのではないかと思います。 	<p>まちづくり委員会</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・消防本部に御提案いただいた内容を伝え、その経過を御報告させていただきたい。 	<p>くらし安心部長</p>